



# IAF シンポジウム 2022

開催にあたって

2022年3月8日

IAF会長 西村 秀和

IAF(産業オートメーションフォーラム)  
一般財団法人 製造科学技術センター

## 開催趣旨

- ◆ IT (情報技術) から IIoT (Industrial Internet of Things)へ

IAFは、工場内の生産と経営層との相互連携の規格とその利活用に関する活動を2011年頃より開始し、これを発展させ、MES (Manufacturing Execution Systems)/MOM (Manufacturing Operations Management) での製造用KPI (Key Performance Indicators, ISO 22400)に関する活動を行っています。

2022年1月26日(水)～28日(金)には、東京ビッグサイトで開催されたIIFES2022に出展し、またセミナーにて講演をいたしました。この度、IIFES2022へご参加いただけなかった方々に対して、オンラインで機器展示の内容をご紹介する「IAF シンポジウム 2022」を企画しました。

スマート製造のSMKL指標と、脱炭素に向けたGAIA-X接続 および CLiCデモ (動画 : GAIA X 接続デモ)

藤島 光城 IAF運営委員 SMKL PJ/CLiC-KPI主査 (三菱電機(株))

茅野 眞一郎 Edgecross IIoTエバンジェリスト (三菱電機(株))

スマート製造実現のため、工場に適切なKPI を選定したSMKL指標で現状レベルを簡単診断。

目標レベルに向けて経営者、担当者、SIer、ベンダー、コンサルタントが費用対効果を考えながらPDCAで計画的に実現する方法の説明と、脱炭素社会に向けた実践的な GAIA X 接続デモシステムをご紹介します。

～DIYで製造業DXに挑戦～ ia-cloud・Node-REDプラットフォーム生産スケジューリング

および オンラインデモ : ia-cloud

橋向 博昭 IAF運営委員会幹事 ia-cloudプロジェクト主査 ((株)アットブリッジテクノロジー)

成岡 雅 ia-cloudプロジェクト ((株)エス・ジー)

DIYでクラウドファーストな製造業DXに挑戦。

OSS (オープンソースソフトウェア) で構築されたia-cloud・Node REDプラットフォームを活用し、ものづくりを変えます。産業用センサや計測制御機器を繋ぐエッジアプリやインターネット上のダッシュボード開発のデモをご覧ください。

モデリングWGの活動 西村 秀和 モデリングWG主査 (慶應義塾大学大学院教授)

射出成形を対象に記述したシステムモデルをもとにして生産スケジューリングの検討を行っている活動内容をご紹介します。「生産現場のモデル」が、異なる立場の複数の人が議論するための“共通言語”となって、製造業界にデジタルエンジニアリングの変革をもたらす基盤となります。